

## 標準積算・社会保険加入促進講習会

全国展開の皮切り東京で積算・見積業界標準を説明

法定福利費の計算方法も解説

壁装施工団体協議会は、2月7日午後1時より、東京足立区の足立区勤労福祉会館で「業界統一の標準積算・見積りの普及と社会保険加入促進の講習会」を開催した。

これは同会が作成した積算・見積標準書式、社会保険料見積りの計算方法の2出版物につき、全業界への普及を図るため、全国展開される講習会の皮切りとなるもの。

当日は同会の安田専務理事が開会宣した後、同会の高原理事が司会・進行役を務めて行われていた。

### 千載一周の好機

本講習会は今後全国の国土交通省の地方整備局がある地域で実施する計画である。

初めに東京で実施したが、東京の積算・見積りが全国に波及するので極めて重視している。

内装仕上げ業界は大変苦しい環境に置かれており、施工費は安く、工期は厳しく、この状態では若い人が入ってくる気にならない。国土交通省は社会保険の未加入の解消、適正な労賃の支払等と呼びかけ指導しているが、これは、健全でやり甲斐ある業界建設には極めて大切な問題である。

内装仕上げの職種は幅広く、また、企業的には家業形態の方も多し。いろいろ難しい面もあるが、積算・見積りを確り行って、適正な価格で受注するよう、従来の仕方から抜け出して行かなければならない。自らの努力で受注単価を上げ適正な価格で受注できる環境を整えたい。

国土交通省が力を入れて、社会保険加入や受注単価の是正を指導しているこの機を逃しては、経営が成り立つ業界建設は難しくなる。千載一遇の好機を活かし、業界総力で価格の適正化を構築して参りたい。

### 積算標準研究の報告

壁紙の施工性の研究を平成15年から17年にかけて実施した。その成果を「壁紙種類と施工性評価表」にまとめ、各壁紙の「評価記号」を付けた。この記号により施工賃の算出を行いやすくした。次に、平成18年から20年にかけて壁紙施工時間を測定し、壁張りの各作業時間の標準を明らかにして、工賃計算の基礎を作った。

平成21年から平成24年にかけて「壁装施工の積算・見積業界標準」の研究を行った。

壁装工事の精密積算は、壁装研究会が平成3年に書式案を作成していた。また、東京表具経師内装文化協会は、平成10年頃、「壁張り施工単価積算原案」を作成、会員に積算用紙を配布していた。

その経験を生かして全業界に最適な書式を提供するため、同事業は壁装研究会と共同で研究、その成果を「壁装施工の積算・見積りに関する研究報告書」として刊行した。また、この作業中に国土交通省の「社会保険料を積算・見積りに記入すること」という指導が発表されたため、積算の管理費部門に、別枠で「社会保険料」欄を設け、更に、専門家に「社会保険料の算出方法」を説明した本の作成を依頼し、これを完成させた。

## 法定福利費の計算方法

「元諦企業も納得！社会保険料(法定福利費)見積金額の計算方法」の講演で、題名どおりの本を資料に用いて、同書の著者社会保険労務士長芋瑞美氏が講演した。

講演は、国土交通省が社会保険加入促進のために発表した「社会保険の加入に関する下請指導ガイドライン」の要旨の説明から始まり、建設労働者の種類を解説、その中で、労働者か請負人かの判断基準等を解説した。

また、社会保険の概要を社会保険一覧表で説明、医療制度、公的年金、労働保険につきそれぞれ分かり易い解説を行った。

その後、注目のテーマ社会保険料(法定福利費)計算方法に移り、いくつかの計算事例(資料の本数ページに掲載)を挙げながら、分かり易い計算の方法・手順を記載したので、実務上もこの方式を用いて積算されたい。と説明した。

壁装新聞(第408号)より引用